

# なかつか 亮



品川区議会 本会議で取り上げました

## 伊藤学園プール一般開放再開を



2月21日(金)本会議質問

一般質問「4テーマ」①国有地や学校跡地を活用し認可保育園、特養ホームなどの増設を②防災対策は住宅耐震化、出火防止など予防第一に③学校跡地を12年間も貸し出す、(株)TOCビルへの支援は中止を④伊藤学園プール一般開放の再開を◆いずれも品川区議会インターネット中継「録画中継を見る」で発信中!

本会議にて「伊藤学園のプール一般開放の再開、しながわ区民公園プール改修は一年中利用できる施設に」とスポーツ環境の充実を提案しました。区は「伊藤学園プールを再開する考えはない」「しながわ区民公園は屋外プールが前提」と答弁、品川区の冷たい対応が浮き彫りになりました。



昨年5月に中止となった伊藤学園プール開放 (区HPより)

### 道路と開発は熱心 区民には冷たい

#### 完成6年でプール閉鎖 区の責任は重大

伊藤学園プール一般開放は、07年6月校舎完成とあわせスタート。近隣からは「とびうおスイミングが無くなつて以来のプール。楽しみです」「貴重なプール施設。子どもが泳ぎを身につける絶好の機会」と歓迎されました。しかし新築にもかかわらず「夏は熱く、屋内プールなのに日差しが強すぎ。逆に冬は寒すぎ(利用者)」と施設に問題が発生。改善

が求められていました。ところが区は逆にプール開放中止を発表。驚いた利用者らは継続を求め署名を開始し、昨年2月に合計4896人分を区議会に提出(共産党賛成)しましたが、昨年5月に閉鎖となりました。

#### プール開放の再開を

一般開放中止からまもなく1年。改めて本会議にて伊藤学園のプール一般開放を再開し、区民の健康づくり、スポーツ環境充実を品川区に求めました。裏へ

## 利用可能な

### プール中止こそ無駄

本会議にて「区は中止の理由を“節電の為”と説明するが、節電とは無駄な電気の使用をやめること。必要な電気を止め、我慢することではない。スポーツ環境とあわせ、健康づくりや地域交流にもなるプール利用への区民要望に応えるべき。本音は“区の電気料金負担を軽くしたい”“設計不備の責任を住民に転嫁している”というもの。利用可能なプールの開放中止こそ無駄」と述べ、プール再開を提案しました。

また、濱野区長が「オリンピック開催決定に伴うスポーツ需要の高まり」を理由に、しながら区民公園の屋

外プール改修を発表したことに触れ「区内プール環境が乏しくなる中、一年中利用可能な屋内温水プールに」と提案しました。

### 区再開の考えはない

区は「スポーツは健康・体力の向上だけでなく、人と人、地域と地域との交流を促し、地域の一体感や活力を醸成する」と述べるものの「伊藤学園プール再開の考えはない」「しながら区民公園プールは屋外プールが前提」と答弁。開放中止の理由を改めて「冷暖房を後付けしたが、冬は保温性にかけて、夏は暑すぎで、利用が困難」と答弁しました。施設完成6年で中止となった設計不備の責任を住民に転嫁とは許せません。

## あれだけ強調していた『節電のため』理由から外れる？！

本会議を通じ、伊藤学園プール開放中止の際に、区が強調していた「節電のため」について、区は理由にいっさいあげませんでした。やはり本音は“区の電気料金負担を軽くしたい”“設計不備の責任を住民に転嫁している”という事です。区は本会議で「気軽にスポーツに親しめる環境整備に取り組んでいきます」と答弁を締めくくっています。ならば、なぜプール再開や屋内プール改修を拒むのでしょうか？

新年度予算は今年度だけで区民税は29億円増収。道路や開発は150億円の支出です。区民要望に冷たい品川区政は、根本から転換が必要です。なかつか亮

## 東日本大震災から3年 高齢者・障害者の命守る防災計画策定を急げ



2月27日(木) 震災対策特別委員会が開催されました

27日の震災対策特別委員会にて「みんなの会」が提出した「高齢者・障害者のいのちと暮らしを守る防災支援計画」の陳情(1327人分)が審査されました。

共産党は「早急に必要な計画」と賛成。しかし「自助、共助が基本」などと自民、公明、民主、み・無の反対多数で否決に。引き続き、防災対策の充実に力を注ぎます。

## 次回の「気軽な町の無料法律相談会」のお知らせ

4月11日(金) 午後6時～8時 場所：日本共産党なかつか亮事務所  
弁護士と一緒に相談会を行います。生活のこと法律のこと、お気軽にご相談ください  
連絡先 昼：区議控室 5742-6818 夜：事務所 3773-3231